

2020年8月26日

インテリジェント ルームミラーを日産自動車のKICKSに納入

パナソニック株式会社 オートモーティブ社は、日産自動車株式会社との共同開発により、大幅な画質の高精細化を実現し、夜間の視認性や後続車のLEDランプによるフリッカー現象を抑制するなど、ドライバーの安全運転に貢献する高性能な電子ミラーを開発しました。



(画像: 日産自動車株式会社 提供)

本開発品は、日産自動車株式会社の第4世代電子ミラーとして、新型コンパクトSUV『KICKS』(日本市場向け:2020年6月30日発売、タイ市場向け:2020年7月発売)に採用されました。

2メガピクセルカメラ、高解像度ディスプレイの採用と独自の映像処理技術により、高精細な映像と夜間視認性の向上を実現。さらにデザイン性に優れたフレームレスミラーを採用しています。

インテリジェント ルームミラーとは、専用設計したカメラで車体後方を広く撮影し、その映像をルームミラーの位置に配置したディスプレイに表示するシステムです。

本開発品の主な特長は下記の通りです。

1. ドライバーの負担を軽減する高精細な映像を実現
2. 夜間視認性の向上と後続車のLEDフリッカーを抑制
3. デザイン性に優れたフレームレスミラーを採用

当社は、カメラやディスプレイなどパナソニックならではの最先端AV技術と車載事業で培った技術を生かし、安全・安心な運転環境の提供に今後も貢献してまいります。

【特長】

1. ドライバーの負担を軽減する高精細な映像を実現

- ・2メガピクセルのカメラを採用(従来品:1.3メガピクセル)
- ・ディスプレイを高解像度化163 ppi(従来品:100 ppi)



(画像:日産自動車株式会社 提供)

2. 夜間視認性の向上と後続車のLEDフリッカーを抑制

- ・パナソニック独自の技術で、夜間視認性を向上する広いダイナミックレンジ120 dB(従来品:100 dB)とLEDランプによるフリッカー抑制を同時に実現
- ・F2.0レンズの採用でさらに夜間視認性を向上(従来品:F2.8)

3. デザイン性に優れたフレームレスミラーを採用

ミラー外周リムを廃止し、ミラーの端部までガラスで造形



4. カメラをリヤウィンドウに配置。後席の同乗者等が映り込まず死角を低減し、後方視認性が向上

カメラをリヤウィンドウの内側に取り付けることで、後方の死角を低減。従来のインナーミラーのように、同乗者や車内の様子が映り込まないため、後方の視界を遮りません。



従来のインナーミラー。後部座席や車体が写り込む。



インテリジェント ルームミラー。カメラがリヤウインドウに配置され、後方が見やすい。

(画像: 日産自動車株式会社 提供)

※画像はイメージのため実際とは異なる場合があります。画像はハメコミ合成です。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。